

2人にちは



News from the city council

No.117

令和 4年8月

豊前市議会です



第98回全国市議会議長会定期総会(5月25日)

6月定例会(5/30~6/17)主な内容

目次
CONTENTS

議案の概要・特別委員会の経過報告	2~4P
令和4年6月定例会議案審議結果	5P
一般質問	6~11P
トピックス・編集後記	12P



議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-8137 (直通)

ホームページ/<https://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

第3回定例会

令和4年第3回定例会は、5月30日から6月17日までの19日間の会期で開催されました。

本定例会初日に、市長より条例案件3件、補正予算案4件、その他の案件2件、報告案件2件の合計11件が提出されました。

それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、原案どおり可決、承認されました。

なお、議案第24号について、反対討論がありました。最終日には、補正予算案2件が追加提案されました。予算決算委員会と文教厚生委員会で審査され、原案どおり、可決されました。また、議会運営委員会より、意見書案1件が提出され、原案どおり可決されました。

また、市長より人事案件1件が提出され、原案どおり、同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。
(敬称略)

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字三楽
濱田 秀文



文教厚生委員会の申し入れ事項

- ◎税負担が年々増大している国民健康保険税については、被保険者の負担軽減、収納率向上のため、アンケート調査を実施して収納回数の変更等を検討すること。
- ◎市内小中学校の再編については、地域住民の意見を聴き、理解を得られるよう、説明の場をより積極的に設けること。また、進捗状況を委員会で報告すること。

総務委員会申し入れ事項

- ◎専決処分については、前回の議会において上程できなかった理由を明確に説明すること。
- ◎多文化共生を推進するため、外国人が生活しやすい環境の整備と企業・地域との連携強化をしっかりと図ること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・岡本清靖
文教厚生委員会	◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治
産業建設委員会	◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一・郡司掛八千代・爪丸裕和
予算決算委員会	◎福井昌文○村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代 ・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖・爪丸裕和
議会運営委員会	◎岡本清靖○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

《令和4年度一般会計補正予算の概要》

6月定例会では、5月30日と6月15日、17日の予算決算委員会で「令和4年度一般会計補正予算」の審査を行いました。委員会では、予算の細部にわたり市側に質問や指摘などを行い、慎重に審査を行いました。

【議案第29号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第2号)

国庫補助事業にかかる経費について、可決しました。

◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	36,520千円
◇子育て世帯生活支援特別給付金事業	46,458千円

【議案第30号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

◇生活困窮者自立支援金事業	2,370千円
◇水利施設管理強化事業	450千円
◇観光費(天狗の湯施設改修)	1,275千円

【議案第31号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対応及び物価高騰対策にかかる経費について、可決しました。

《主な事業》

◇保育所等給食支援費補助金	6,750千円
◇認定農業者等物価高騰対策補助金	5,700千円
◇漁業従事者燃料費等高騰対策補助金	5,100千円
◇子育て世帯物価高騰対策支援事業	41,886千円
◇運輸交通事業者等支援事業	7,513千円
◇宇島駅前トイレ設置工事	39,597千円
◇学校給食費助成金(小学校)	13,970千円
◇学校給食費助成金(中学校)	7,150千円

《意見書案第4号》

重度障害者の電車特急料金割引制度の適用及び駅構内・踏切内の安全対策を求める意見書

現在、電車料金については、重度障害者と介護者及び同行援護者の乗車券割引制度は、適用されているが、特急料金割引制度は適用外である。

近年のコロナ禍で生活態様が一変し、重度障害者の負担が一層増大している中、重度障害者の負担軽減ができるよう当該者の特急料金割引制度を乗車券と同様に適用してもらいたい。重度障害者が乗降する際は、介護者及び同行援護者が必要不可欠である。

また駅構内・踏切内で事故が過去に発生している箇所や危険な場所については、早急に安全対策を構じるよう関係鉄道会社に対し積極的に働きかけを行うよう国・県へ強く要望しました。

第15回新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、6月15日に開催され、執行部より、感染状況・新型コロナウイルスワクチン接種の現状・地方創生臨時交付金事業について説明がありました。また委員からもいろいろな意見がありました。主なものは以下のとおりです。

◎新型コロナウイルスワクチン4回目接種について(豊前市実施)

●対象者 新型コロナウイルスワクチン3回目の接種から5ヵ月が経過した方

①60歳以上の方(対象者 約9,500人)

②18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する方、その他医師が重症化リスクが高いと認める方

●使用するワクチン ファイザー社製及びモデルナ社製

●接種開始時期 ①医療従事者の中で60歳以上の方や基礎疾患を有する方 … 7月頃～

②高齢者施設等の入所者及び60歳以上又は基礎疾患を有する従事者 … 7月頃～

③60歳以上の方及び基礎疾患を有する方等 … 8月頃～

◎新型コロナワクチン接種率

(6月5日現在)

豊前市	1回目	2回目	3回目
75歳以上	96.65%	96.15%	91.91%
65～74歳	92.55%	92.50%	89.10%
50～64歳	91.52%	91.37%	82.11%
12～49歳	80.39%	79.84%	55.91%
5～11歳	18.19%	14.71%	0%
合計	84.08%	83.52%	70.43%



○新型コロナワクチン接種後に、重い後遺症があった方の把握はしているのか。

○重い後遺症があった方は、どこに相談していいのかわからないようだ。

市報等で相談先や救済制度等があれば周知すべきである。

企業誘致特別委員会の経過報告

企業誘致特別委員会は、市政活性化に向けて、企業誘致を促進するものです。前回報告以降に開催された委員会の内容は、以下のとおりです。

第9回(6月17日開催)

工業団地適地選定調査、住環境整備及び都市計画道路に関する事業の進捗状況について、各担当部署から報告を受け、今後の委員会の対応について議論しました。

令和4年6月定例会 議案審議結果

「○」…… 賛成 「●」…… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	尾澤満治	爪丸裕和	賛成	反対
議案第22号	豊前市税条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第23号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第24号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	●	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	10	1
議案第25号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第26号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第27号	専決処分について（令和4年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第28号	専決処分について（令和4年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第29号	令和4年度豊前市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第30号	令和4年度豊前市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第31号	令和4年度豊前市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
議案第32号	令和4年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
意見書案第4号	重度障害者の電車特急料金割引制度の適用及び駅構内・踏切内の安全対策を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0
同意案第2号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	11	0



議長
尾澤 満治



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無会派』の一般質問

【質問項目】

(梅丸晃議員)

- ① フレイル予防
- ② 旅先納税
- ③ キャリア教育
- ④ 起業家教育

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 地域連携でつくる
キャリア教育
- ② 教員の働き方改革から
見える今後の教育
- ③ 健康増進に向けた
今後の取り組み
- ④ 豊前市が取り組む
SDGs

【質問項目】

(村上勝二議員)

- ① 新型コロナ対策
補助
- ② 難聴者の補聴器購入
補助
- ③ 学校再編計画
- ④ 気候危機打開にむけた
カーボンニュートラル
実現へ

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

旅先納税について



梅丸 晃

梅丸議員 旅先納税とは、

や入場券など、豊前市の利用可能な価値を電子化できる仕組みになる。以上、3点の理由により、旅先納税と地域通貨システムを導入すべきと考えるが、執行部の考えを伺いたい。

ふるさと納税の返礼品として旅先納税システムを導入することで、豊前市滞在中にスマホを介してふるさと納税ができ、地域通貨として電子商品券を発行し市内の加盟店で利用ができ、豊前市の地域経済に還元できる。①ふるさと納税を実施していない

総合政策課長 ふるさと納税の寄附拡大と地元での消費喚起、経済活性化を目指し、新たな取り組みとして、ご提案をいただいた。現在、全国で5つの自治体

90%の未開拓市場向けに豊前に訪れた際に、旅先納税を促し、返礼金額を滞在中に加盟店で利用し地域経済に還元できる。②加盟店の迅速な経済支援の実現が可能になり、市内をネットワークすることで、観光施設・飲食店・アクティビティ、お土産などに結び付け市内を回遊し、観光による地域活性と結びつく。③これは、地域通貨システムと連動しており、地域通貨や商品券、乗車券

が取り組んでおり、また、観光等で訪れた町に、スマホからできるふるさと納税というシステムで、電子商品券を返礼品とし即座に発行し、経済の地域喚起を実現できると認識をしている。一方で旅先納税に取り組む場合、基本的な地域通貨システムや地域のキャッシュレス化がどの程度進んでいるのか、事業者の理解と多くの参加・協力体制が必要となる。またキャッシュレス化になることで、精算手数料等、事業者の負担となるところが懸案事項である。今後、先行自治体や運営業者の状況を調査し、

この制度の理解を深め、関係課と協議をしたいと考えている。

梅丸議員 少しずつ観光が再開されることを見据え、観光誘致やふるさと納税の拡大に向けて、豊前市が先駆けて旅先納税に取り組んでいただきたい。特に自然の中で体験できる観光などに活用していただき、寄附による更なる観光投資を見据えてもらいたい。寄附拡大、地域通貨としての域内経済循環は、SDGs 11番の目標にある、「住み続けられるまちづくり」の取り組みにもなる。ぜひ旅先納税システムの導入をお願いする。



豊前市が取り組むSDGsについて



為藤 直美

は十分理解しており、市としても世界の一員として何ができるのかを考えていく必要があると認識している。

為藤議員 本年1月から、市報のシリーズ豊前市でSDGsを連載しており、一人一人ができる取り組み事例とあつたが、目的や方法など、分かりやすい市民協働の取り組みが必要だと考えられる。このことについて考えを伺う。

総務部長 今後、具体的な取り組みに市民一人一人が参加でき、考えられるようなものを提供し、一緒に考えていきたいと思います。

為藤議員 温暖化は、大災害をもたらし、海面の温度が上昇することで海の生物にも影響を及ぼし、食物の影響は人的影響にもつながる。持続可能な豊前市であるために、早急に方針を打ち出すべきではないか。

市民福祉部長 地球温暖化が原因と言われているが、気候変動は、自治体にとつてリスクとなっていること

切りに、市民参加型で取り組んでほしいと思うが、市長の考えを伺う。

市長 カーボンニュートラル、脱炭素は喫緊の課題である。環境改善のため、どのように具体的な道筋を付けて取り組んでいくのか、その準備をしてきた。カーボンニュートラル、脱炭素を市の大きな目標として掲げ、その宣言をすべき日が来たと思っている。議会や市民の理解と協力を得ながら、しっかりと取り組んでいきたい。

為藤議員 トップがしっかりと目標を立て、しっかりとした計画で目標を達成することが大事だと思いが、もう一度はつきりと。

市長 どのように道筋を立て、具体的に取り組むのか、幾つかしっかりと視野に入れていけるところもあり、市民や議会と協力しながら、市民参加により全体で取り組む。宣言をする。

為藤議員 自然環境の素晴らしい豊前市を未来につなげるため、地域一体となつて頑張っていきたい。

難聴者の補聴器購入補助について



村上 勝二

がさらに進み、うつ病や認知症の要因にもなっているという。住民の声に応え、自治体独自で補聴器の購入費用を助成する制度が広がっているが、豊前市の現状をお聞きする。

福祉課長 庁内でも制度の実現に向けて、検討しているところである。

村上議員 京築地区では、みやこ町が65歳以上の方で上限2万円の一部助成を行っている。全国的にも広がっており、ある市では、医師が必要と診断したら片耳で上限5万円、両耳で上限10万円と年に一度の修理費として1万円の助成をしている。また補聴器だけではなく、痰の吸引器や車椅子など6つの日常生活用具の購入が対象となつていて、福祉課の担当者は、「必要だけど国の制度や介護保険の対象から外れた方が救済されるようになったことは本当に良かった。利用者や各方面の意見を聞きながら、より使いやすい制度にしていきたい。」と今後の抱負

村上議員 昨年9月議会一般質問と3月の文教厚生委員会でも取り上げたが、改めて今議会でも質問をする。難聴者支援の現状と補聴器購入の補助とだ、「もっと取り上げたい」という声があつたことを聞き、これは、難聴で困っている方からの期待と私は受け止めている。過去の質問では、難聴の早期発見・早期治療でその後の生活や人生に与える影響が小さくなることや、難聴を未然に防ぎ、難聴者を減らす予防対策の重要性を示した。日本の補聴器使用率は低く、補聴器の購入補助にはレベルが定められ、難聴者の9割が対象外となつているのが現状である。全額自費で購入せざるを得ず、高すぎて購入できずに難聴

を語っていた。そこで、市としては、いま検討中ということだが、市長の考えをお聞きする。

市長 耳の不自由な方にとって、社会参加をする上で非常に大きな妨げになっているところがあると思う。ぜひ何とかしたいと、いま準備をしているところである。先進地の事例も含めて、豊前市でどう取り組んでいけばいいのか、精査していきたい。



村上議員 ぜひ前向きな対応をお願いしたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成会』の一般質問



福井 昌文



鎌田 晃二



黒江 哲文



平田 精一



秋成 英人



内丸 伸一

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

【質問項目】

(秋成英人議員)

① アピアランスケア事業

② デジタル田園都市

③ 保育園の問題

(福井昌文議員)

④ 豊前市の財政・事業の取り組み

(平田精一議員)

⑤ 豊前市の諸問題

(内丸伸一議員)

⑥ 市民サービス・防災・観光行政

(黒江哲文議員)

⑦ 市民対応業務の現状と対策

(鎌田晃二議員)

⑧ 養護老人ホーム

⑨ 市バス

⑩ コロナ禍での対応

アピアランスケア事業について

秋成議員 アピアランスとは、人の外見をさす言葉である。アピアランスケアとは、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアと定義している。がん患者やがん経験者のがん治療に伴う外見の変化、脱毛や爪の割れ、手術痕、身体的部分的な欠損などに対し、その人らしくいられるように、外見と共に周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポートのことを言う。具体的には、医療用ウィッグや補正パッド、下着等の補正具の購入費を助成するもので、治療前と全く同じ姿ではなくても、周りの人のことが気にならなくなったり、自分らしさを実感できるようにしたりするためにはサポートをしようという事業である。福岡県では、昨年度からアピアランスケア事業を開始し、県内では10市町が実施してお

り、今後も増加していくものと思われる。また、服部県知事は、「県内全ての市町村に県の補助金を活用し助成制度を設けて、県と市町村が協力してがん患者を支えていきたい。」とおっしゃっている。病気の治療に金銭面や精神面での負担もあるが、外見の変化で気持ちが沈んだり前向きな気持ちになれなかったり、そういった方々が病気に立ち向かえるよう行政にできるのが、アピアランスケア事業によるサポートである。豊前市としても、この事業に取り組みむべきだと思うが、市長の考えをお聞きする。

市長 外見や見かけは本当に大事なことだと思う。自分が望まなくて病気に罹り、そのために失ったもの、外見の変化が心の変化につながってくると思う。心身共に元気に明るく過ごして行くために、行政はそういった方々のサポートもしなければならぬ。積極的に取り組み、早く実施



できるように頑張りたい。秋成議員 がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送る患者が増加している。がん患者やがん経験者が、治療に伴う心理的負担や経済的負担を軽減するとともに、社会参加を促進するべくQOL(生活の質)の観点からも早期に取り組んでもらいたい。

豊前市の財政・事業の取り組みについて

福井議員 豊前市の財政状況は、近年の経常収支が示すとおり、自主財源が乏しいことにより自由に使える予算が非常に少なく、大変厳しい状況である。税収は年々減り続けており、平成29年度と令和2年度を比べると、約1億円以上減少している。人口の減少やコロナ感染対策による事業の制限、ロシアのウクライナ侵攻など世界情勢の悪化に伴う原材料費の高騰により、市内事業者は大きな打撃を受けており、今後も業績の回復は簡単なことではなく、市の税収の増加は見込めないと思うが、どのような改善策を考えているのか。

総務部長 徴収率の向上やふるさと納税等を充実していきたいと考えている。また、歳出の節減・削減も行っていかなければと思っている。福井議員 税収が見込めない中で税収を上げる手立てとして、私はふるさと納税による税収の獲得が一番可能性があると考えているが、ふるさと納税の推移も年々減っているように思う。そこで、ふるさと納税専門の部署を置くと共に、商品開発や生産者と交渉のできる経験者などの活用により、寄附の獲得を図ってはいかがか。

総務部長 ふるさと納税は自主財源確保の重要な手段であると認識をしている。組織編成や人的配置などを考えていきたい。福井議員 ふるさと納税が年々伸びている自治体も多数ある。豊前市の特産品も考え方を变えることにより、まだまだ伸びる余地はあると思うが。市長 ふるさと納税の現状を打破するためには、即戦力となる人材の確保や民間への委託も考えていかなければと思う。手を尽くし、努力をし、リスクを恐れずにやっていかなければとも思っている。豊前市の自慢できるところを体験型も含め、返礼品にどのよ

豊前市の諸問題について

平田議員 現在、ガソリンの高騰やロシアのウクライナ侵攻による円安のため、物価が上昇しているが、農産物は需給に大きく左右されるため、価格に転嫁することが容易ではない。肥料や農薬、建築資材などの大手企業が値上げに踏み切っており、今後の農業にとって大きな痛手になると思われる。農業経営に対しての支援策があるのか教えていただきたい。

農林水産課長 燃料費や資材費などの上昇に対して、国の臨時交付金を活用した農業者の支援を検討している。

平田議員 福岡県議会でも農業者支援の動きがある。県や国の動向について、しっかり情報を掴んでいただきたい。次に、化学肥料についてお伺いする。高騰する化学肥料について、バイオマス発電の燃焼灰をカリウム肥料に再利用する動きがある。豊前市にはバイオマス発電所があり、再利用に向け

取り組みをすべきと思うがいかがか。

農林水産課長 燃焼灰の肥料等への活用は、品不足の解消やSDGs等につながる素晴らしい取り組みであると思うが、まだ研究段階であり、今後の動向を注視し検討したい。

市長 大量生産・大量消費による環境問題を含めた負の部分が表面化し、ごみを資源として見直す風潮になった。し尿処理場の汚泥なども含めて幅広く、また最新技術の活用に向けていきたい。

平田議員 食料やエネルギーなど、日本は常に外国に頼り過ぎていて。今後は小さい自治体でもしっかりと考えていくべきだと思う。次に、肥料についてお伺いする。報道によれば、稲作肥料の中には肥料が効率よく回るようにするため、プラスチックで包んでいるものがあり、それが河川に流出することにより、海洋汚染が進んでいるということであった。この肥料につい

ては利用者が多く、使用を禁止することはできないが、利用者はその事実を知識として持つべきことであると思うが、市としての考えを伺いたい。

農林水産課長 現在、肥料メーカーでは環境に配慮した肥料の開発を進めているということであり、利用者には河川への流出を抑える対策を呼び掛けているとのことである。市としても肥料の開発状況等の把握に努め、随時農業者の方に情報発信を行いたい。

平田議員 海洋汚染は、巡り巡って全部人間に返ってくることであり、知識不足は決していいことではない。今後しっかりと広報していただきたい。最後に、ふるさと納税のサイトが棚田地域の活性化に協力しているようである。棚田保全地区のある豊前市を売り込むため、棚田米のアピールをしっかりとやっていただきたい。



市民サービス・防災・観光行政について

内丸議員 老人福祉センター汐湯の里は、1月の臨時会で廃止決定したが、利用者からはなんとか続けられたいか、地元市民からは施設ができた経緯を知っているのか、などの意見・要望が寄せられている。市の財政、建物の老朽化、コロナ禍での利用客減少等、運営が厳しいことは理解できるが、市の考えは。

市民福祉部長 昭和50年頃、当時のし尿処理場とごみ処理場の建設にあたり、地元協議の中で、老人福祉センターを建設するという約束になっていたということは、承知している。

内丸議員 汐湯の里をなくすなら、ごみ処理場もなくなすか、よそに持って行けという、経緯を知っている方々の意見もあるが、市はどう思うか。

市民福祉部長 昭和50年当時からでも46年、施設ができてから35年以上経過しており、当時と状況が変わっている。施設の老朽化、利用者数の減少、公共施設

の在り方等から、最終的に廃止を決定したものである。また、地元六区の環境衛生問題協議会に説明し、了解をいただいている。議会での意見や利用者の意見なども踏まえ、利用者に配慮した代替え措置等も対応している。いろいろな御意見はあると思うが、御理解いただきたい。

内丸議員 今後ごみ焼却施設の建て替え等を検討しなければならなくなつたとき、今回取った行動がネックとなりかねず、危惧するところである。市はどう考えているか。

市長 これから現施設をどうするかを含め、地元の意見も聴きながら、しっかりと取り組んでいかねばと思っている。

内丸議員 汐湯の里閉鎖の説明は、閉鎖ありきであり、そのような説明は、今後の市政運営に支障を与えると思う。今後は、計画的に話し合い、説明会を開き、市民が納得できるように進めていただきたいが、いかがか。

市民福祉部長 市民が利用する施設の廃止などについては、事前に情報を公開し説明するなど、その手順については、今後十分に配慮していく必要があると考えている。

内丸議員 汐湯の里閉鎖に同意するにあたり、天狗の湯に囲碁、将棋、カラオケ等ができる場所を確保するようになっていくが、進捗状況は。

健康長寿推進課長 令和4年4月より天狗の湯の和室を市が借上げ、無料で提供している。また、湯船の高さ対策、手摺りの設置、カラオケ活用の和室の防音・防犯対策等の整備については、今議会に提案している。本格的な利用が開始される9月末までに、全ての整備が完了するよう努力する。

内丸議員 汐湯の里が廃止になるまでに対策を取り、地元軽視にならないよう、しっかりと地元の意見も聴いて取り組んでいただきたい。

市民福祉部長 市民が利用する施設の廃止などについては、事前に情報を公開し説明するなど、その手順については、今後十分に配慮していく必要があると考えている。

市民対応業務の現状と対策について

黒江議員 新型コロナウイルスの影響により生活困窮者が全国的に問題視されている。豊前市では生活困窮者の増減の数値など、現状把握や分析はどうなっているのか。

福祉課長 市に寄せられた生活困窮に関する相談件数に関しては、令和2年度では、253件で延べ1236回、令和3年度では、110件で延べ880回と、コロナに関する影響が大きく出ていると分析している。

黒江議員 生活困窮者に対し、国や県は様々な支援制度を実施しているが、その制度を活用できなかった案件の件数等を把握していれば確認したい。

福祉課長 正確な数字がきっちり出せない状況である。

黒江議員 資料では、社会福祉協議会に寄せられた相談で一番多いのはやはり収入、生活費の悩みということである。理由としては、解雇などで職を失ったことによる経済的困窮や

社員寮からの退出、失業を原因とした引きこもりというケースも多いようである。先進事例としてライフサポートセンターを設置している自治体もあり、制度に当てはまらない困窮者の支援が重要と思うが、その取り組みをどのように考えているのか。

福祉課長 豊前市または周辺において活用可能な公的にサポートし得ない社会資源の把握の必要性を痛感したところである。

黒江議員 制度に当てはまらない困窮者への支援を行政が積極的に行うべきであり、豊前市も市民対応業務として、生活保護にならないような自立支援対策が重要かと思う。そのためには支援策として、住居と仕事のセットという考え方が多いようであり、仕事を探すまでの困窮者のための住宅貸付制度、また就労支援サポートが必要であると思うがどうか。

市民福祉部長 いろいろなケースについて、どういった対応ができるのか

を総合的に検討していきたい。

黒江議員 生活困窮者に対し、制度で賄えないところを支援している団体として、ふくおかライフレスキューがある。また、豊築地区では自立支援協議会もある。そしてまたボランティアセンターとの連携も必要ではないかと思う。制度に当てはまらない問題は、官民の連携で救えることもあると思うがどうか。

総務部長 弱者の方々には、何らかの手を差し伸べていかなければならないと感じている。ボランティアセンター、それから社会福祉協議会、先ほどのレスキューも含めて、何らかの連携ができればと思う。

黒江議員 職員一丸となって頑張っていると思うが、制度に当てはまらないところに対し、新たな独自施策を生み出すには、時間と努力が必要と思う。前向きで積極的な職員を育て、市民を支えられる行政になっていただきたい。

養護老人ホームについて

鎌田議員 養護老人ホームは、日々の生活において様々な理由で困っている高齢者を養護する高齢者施設である。この施設は、行政が必要と判断した場合のみ入居できるが、社会保障費用の増大などが原因となり、養護老人ホームの措置を控える所も出始めていると聞いている。また、措置入所も補助金設定が大きく見直され、経営が厳しくなっていると聞いており、高齢者が本当に安心して暮らせる環境整備の点で、行政の対応は大変重要になる。豊前市の入所判定の審査はどのようになっているか。

参加促進事業を実施しており、個別訪問における聞き取り等から支援が必要と思われる方については、地域包括支援センターにつき、連携をとり、日常的な支援につなげている。この事業でそういった方が掌握できていると思うがどうか。

健康長寿推進課長 豊前市施設入所判定委員会を設置しており、入所申込者がいる場合は、毎月1回、判定委員会を実施している。

健康長寿推進課長 該当しそうな方については、市の生活保護係の職員や民生委員、地域包括支援センターの職員等が声掛けをしており、見守り事業での情報については、社会福祉協議会と地域包括支援センター等で共有をしている。

鎌田議員 養護老人ホームは措置施設であり、施設の利用で利用率をコントロールすることは難しい。経営的には介護サービス利用者の割合が増えれば、安定するかもしれないが、本来の目的からはずれていく。経営的な問題により、入所する市民に我慢をさせているのではないかと懸念しており、経営安定のためにも入所者の循環が

鎌田議員 施設としっかり連携を密にとり、入所の希望者がいなくても月1回くらいはしっかり委員会を開き、弱者のための施設としてずっと続くよう取り組んでいたきたい。

うまくいくよう、委員会で話を進めてもらいたい。

高齢化の進展に伴い、社会的孤立の問題等が顕在化して、介護ニーズや介護以外の生活課題を抱える高齢者の増加が見込まれる中、居宅での生活が困難な低所得の高齢者に対する地域の受け皿として、養護老人ホームが果たすべき役割は、ますます重大なものになると考えられ、これまでに以上に積極的な取り組みの推進が期待されている。養護老人ホームは、低所得者の将来の安心となる施設であり、連携を密にして取り組んでもらいたいと思うが、市長に聞く。

市長 高齢になり、経済的に厳しい環境にある方々には、多様なセーフティネットが必要だろうと思う。そういうセーフティネットをしっかりと持ち、支えていくことを大事に思っている。

鎌田議員 施設としっかり連携を密にとり、入所の希望者がいなくても月1回くらいはしっかり委員会を開き、弱者のための施設としてずっと続くよう取り組んでいたきたい。

全国市議会議長会表彰



黒江哲文議員
(10年表彰)

平田精一議員
(10年表彰)

平田精一議員(議員10年表彰)、黒江哲文議員(議員10年表彰)が、5月25日に東京で開催された第98回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

企業誘致特別委員会の勉強会



福岡県庁での企業誘致勉強会の様子

5月16日、福岡県庁にて企業誘致特別委員会の勉強会を行いました。福岡県商工部企業立地課立地計画係長及び企業誘致係長より、農村地域への産業の導入の促進等に関する法律及び福岡県内の企業誘致の取り組み等について説明を受け、意見交換を行いました。今後、企業誘致など福岡県と連携を密にしていく上で、とても有意義な勉強会となりました。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止(公職選挙法第199条の2第1項、第2項)
豊前市議会は、初盆参り等については、法令遵守をいたします。

編集後記

市民の皆様、こんにちは！
猛暑の候、コロナ禍と相いまって、市民の皆様は毎日いかがお過ごしですか。私達、豊前市議会の活動としましては、6月定例会市議会を慎重に審議、議決し、市民活動に支障がない様、良好な議会運営に努力いたしております。これからの時期、大雨等の災害に襲われる可能性がありますので、行政と協力し、危機管理意識の強化に努め、災害に強い、災害の無い、安心安全な豊前市の街づくりの為に最大限の努力をしておりますので、市民の皆様も各自“自分の命を守る”ことを第一に考えてみてください。これからも、市議会に色々とお協力をお願いいたします。それでは、お元気でお過ごしください。

秋成 英人

次回の定例会市議会は
9月です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴については、状況によりご遠慮いただく場合がありますので、詳しくは議会事務局へお問合せください。

本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会

検索

編集

編集委員会

委員長：梅丸晃

副委員長：為藤直美

委員：村上勝二 郡司掛八千代

秋成英人

印刷

築上印刷有限会社